

令和7年度（2025年度）島根県立大学
国際関係学部 国際関係学科
国際関係コース

一般選抜（前期日程）

小論文

【試験時間 90分】

以下の注意事項をよく読んで指示に従うようにしてください。
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。許可なくこの問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 試験時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから4ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 解答時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

○次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

広島と長崎への原子爆弾の投下は、日本現代史だけでなく世界史に特筆される出来事である。2016年5月に広島を訪れたバラク・オバマ（Obama, Barack）米大統領は、それを「71年前の明るく晴れ渡った朝、死が空から舞い降り、世界は一変した」と形容し、核兵器を「人類が自らを破滅に導く手段」と表現した。それに続いて、オバマは10万人を超える日本人、何千人もの朝鮮人（thousands of Koreans）、そして十数人の米国人捕虜（a dozen Americans held prisoner）の犠牲に言及し、それらのすべての人々のために祈ったのである。しかし、そのことから飛躍して、原爆投下が大日本帝国の滅亡、さらにその一部であった朝鮮半島に及ぼした影響について想像する者はほとんどいなかっただろう。

原子爆弾の開発という軍事技術革命が日米戦争の終結に大きな役割を演じたとすれば、広島や長崎の住民にもたらされた深刻な被害とはまったく別の形で、それは朝鮮現代史、とりわけその地域の解放と分断に大きな影響を及ぼしたはずである。事実、もし米国が数ヵ月早く原子爆弾を完成し、それを連続的に投下していれば、ソ連軍が対日参戦の準備を整える前に日米戦争は終結して、朝鮮半島全体が米軍によって占領されたことだろう。また、もしその完成が数ヵ月遅れていれば、朝鮮半島は参戦したソ連軍の占領下に入ったことだろう。あのタイミングで原子爆弾が完成し、投下されたことが、朝鮮分断の大きな契機になり、5年後に米中両国を巻き込む大戦争を発生させる原因の一つになったのである。その戦争の犠牲者は数百万人に達し、全世界的な広がりをもった。さらに、朝鮮分断はその後も解消されず、今日も国際的な地域紛争の源泉であり続けている。（中略）

朝鮮分断は第2次世界大戦の終結や米ソ冷戦の開始と密接に関係していた。言い換えれば、それは二つの大戦の狭間で進行した一つのプロセスだったのである。（中略）なぜならば、日本海軍の艦載機がハワイ・オアフ島の米海軍基地を攻撃したこと（中略）を契機にして、ローズヴェルト（Roosevelt, Franklin D.）大統領は1942年1月1日に「連合国宣言」に署名し、ウィルソン（Wilson, Woodrow）的な民族自決の原則を日本の植民地や支配地域に及ぼしたからである。さらに、1943年12月1日のカイロ宣言によって、朝鮮の「自由・独立」が戦後に実現されるべき連合国の目標として確認された。しかし、周知のように、スターリン（Stalin, Joseph）首相は戦後世界に民族自決や領土不拡大の原則を適用するよりも、自らの地政学的な不安感を解消するために、自国の周辺に防御的空間を確保しようとした。ヨーロッパの大国は戦争が終わるたびに国境線を調整し、その後の平和を維持してきたし、自国に有利な国境線の確保こそ、次の大戦を遅らせ、ソ連の将来の安全を保障すると考えたからである。朝鮮分断の背景には、そのような米ソの安全保障観の対立が存在したのである。

(a) 日本は日米戦争の一方の当事者であっただけではない。冷戦と呼ばれる米ソ対立

の舞台を東アジアに設定するうえでも、大きな役割を演じた。なぜならば、日米戦争以前の時期、さらに開戦後の約6ヵ月間に、大日本帝国の版図が日本列島から、台湾、朝鮮、満洲、中国北部、インドシナ、南西太平洋諸島にまで拡大したからである。日本の敗戦によって、そこに、冷戦の舞台となる巨大な「力の真空」が発生したのである。いうまでもなく、冷戦初期に、米ソは北東アジアで対峙した。(中略) その接点となった朝鮮半島の北緯38度線は、日本軍の降伏を受理するために、米ソが陸上作戦の境界線として設定したものであった。当初から政治的な意図が存在しなかったわけではないが、東西冷戦が朝鮮半島に波及することによって、それが二つの体制を隔てる「鉄のカーテン」の一部に変化したのである。他方、この地域の戦略的な地政学のために、伝統的に日本の敵とみなされてきたものが、日本に代わって米国の敵にならざるをえなかった。日本を占領した米国が、日本の安全と関連する紛争要因を引き継いだからである。

米国による南朝鮮占領は対日戦争勝利の副産物であり、それに伴う特別の方針や準備があったとは思えない。将来の「自由・独立」を約束したにもかかわらず、第2次世界大戦中、米国は一貫して朝鮮半島を「大日本帝国の不可分の領土」とみなしていたのである。マッカーサー(MacArthur, Douglas)総司令官が厚木飛行場に降り立つ2日前に、日本占領方式が直接統治から間接統治に大きく切り替えられたときにも、それが朝鮮占領に及ぼす影響について懸念する者はほとんどいなかった。8月28日に発令された「作戦命令第4号・付属8(軍事政府)」は、北緯38度線以南の朝鮮を日本本土と区別しないまま、そこに「天皇および大日本帝国の各種の統治手段を通じて統制権を行使する」ことを要求していたのである。そのために、南朝鮮に進駐した米第24軍団のホッジ(Hodge, John R.)中将は、当然のように、朝鮮総督府の主要幹部を留任させ、その行政機構を統治手段として使用しようとしたのである。それが南朝鮮内で強い反発を招来したことはいうまでもない。(中略) ソ連軍による北朝鮮占領も、その東欧諸国占領に準ずるものであった。

他方、朝鮮の解放や分割占領が何を意味するのかは、朝鮮人指導者にとって、きわめて重要かつ難解であった。連合国宣言やカイロ宣言にもかかわらず、そこには「解放＝独立」の等式が存在しなかったからである。事実、第2次世界大戦中にローズヴェルト大統領や米国務省が構想し、中国、ソ連、英国から同意を得ていたのは、朝鮮の即時独立ではなく、それら4ヵ国による朝鮮の信託統治であった。しかし、米軍が進駐する前に、解放直後のソウル(京城)で表面化したのは呂運亨を中心にする左派民族主義勢力と朝鮮共産党の連合であり、それによる「朝鮮建国準備委員会」の結成や「朝鮮人民共和国」樹立のための運動、すなわち左派勢力主導の建国運動であった。他方、右派民族主義勢力は重慶にある大韓民国臨時政府を支持し、その早期帰還に期待を寄せた。しかし、その大韓民国臨時政府は、ポーランドのロンドン亡命政府のように、国際的な承認を獲得した亡命政府ではなかった。それは、むしろド・ゴール(de Gaulle, Charles)将軍の率いる「フランス民族解放委員会」に似ていたのである。しかし、それならば、

だれが朝鮮のド・ゴールなのだろうか。解放当時に臨時政府主席だった金九だろうか、それとも初代臨時大統領であった李承晩だろうか。北朝鮮では、やがて金日成が「民族の英雄」として登場した。

(中略)(b) それらの指導者たちにとって、朝鮮分断とは何だったのだろうか。それは独立と統一の不可解な関係、すなわちその両者の「非両立性ないし相克」であったに違いない。なぜならば、解放後の朝鮮に存在し、朝鮮戦争を通じて定着したのは、「独立を達成しようとするれば統一が不可能になり、統一を実現しようとするれば戦争が不可避免になるという不都合な状態」だったからである。それが朝鮮分断であり、北朝鮮では、早くも 1946 年 2 月に、金日成委員長を首班にして、事実上の単独政府である北朝鮮臨時人民委員会が成立した。冷戦の勃興とともに、南北協商^(注1)によって分断を克服するよりも、まず可能な地域に政府を樹立するという単独政府論が優勢になり、それがやがて武力統一論に姿を変えたのである。もし米ソによる分割占領がなければ、比較的早期に、朝鮮の民族主義者と共産主義者の間で内戦が発生したことだろう。第2次世界大戦後の混乱した時期には、ナショナリズム、すなわち独立意欲が統一戦争を準備したからである。中国でも国共内戦が発生し、激化した。また、その後も米ソによる介入がなければ、その内戦は1、2年以内に決着をみたことだろう。どちらが勝利しても、朝鮮の分断「状態」は解消されたのである。しかし、実際には、3年間に及ぶ激しい国際内戦を経て、朝鮮半島の南北対立は世界的な冷戦体制の重要な一部となり、それは米韓相互防衛条約やソ朝および中朝の友好協力・相互援助条約によって制度化された。それが分断「体制」の誕生であった。

(注1) 協議してとりはからうこと。相談。交渉。

(出典：小此木政夫『朝鮮分断の起源：独立と統一の相克』慶應義塾大学法学研究会 2018 年、2－5 頁。なお、出題にあたって、文章の一部を省略したり、表現を改めたりしている。)

問1 下線部 (a) について、なぜ日本は「米ソ対立の舞台を東アジアに設定するうえでも、大きな役割を演じた」のだろうか。文章中の語句を用いて、200 字以内で述べなさい。

問2 下線部 (b) について、「それらの指導者たちにとって、朝鮮分断とは何だったのだろうか」とあるが、筆者はどのようにとらえているだろうか。文章中の語句を用いて、200 字以内で述べなさい。

問3 なぜ朝鮮は第2次世界大戦終結とともに分断されることになったのか。本文の内容やこれまでの学習をふまえて、あなた自身の考えを 600 字以内で述べなさい。